

会議の概要報告

会議の名称	令和4年度 第2回佐野市総合教育会議
1 開催日時	令和4年12月23日(金曜日) 15時30分～16時40分
2 開催場所	佐野市役所6階 大会議室
3 委員等の人数	6人
4 出席委員等の人数	6人
5 議題	協議・調整事項 (1) 令和5年度佐野市行政経営方針について (2) 教職員の負担軽減、多忙感の解消について (3) 不登校支援について (4) その他
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	3人
8 会議資料の名称	資料1 令和5年度佐野市行政経営方針 資料2-1 「栃木・小山・両毛地区ブロック別市町村長会議」結果概要について 資料2-2 現状と今後の対応について 資料3-1 不登校支援について 資料3-2 不登校児童生徒の状況 資料3-3 不登校支援計画(案)
9 会議の概要 (発言の要旨)	(1) 令和5年度佐野市行政経営方針について ・市長及び総合政策部長より説明。特に意見なし。 (2) 教職員の負担軽減、多忙感の解消について ・出品する作品には学校の名前を付けるので先生が指導するべきだが、作品が重くなると確かに負担は大きくなる。 ・職員の多忙面と児童生徒の成長面の両方があり、バランスが難しいが、文系・運動系に限らず子どもが活躍できる場をなくさないでほしいとも思う。 ・作品はそのまま提出し、募集团体に選んでいただくのでも良いのではないかと。 ⇒佐野市教職員協議会、佐野市管理職員協議会、市教協、校長会、国会議員等に対し、総合教育会議で協議した内容や佐野市の方向性を文書で提出したい。 (3) 不登校支援について ・市長より、令和4年7月6日に開催された「栃木・小山・両毛地区ブロック別市町村長会議」の結果を報告した。 ・不登校になるきっかけが先生に起因するという意見がある。教職員には日頃より研修を受けていただいているが、担当の先生が研修を受けて終わりではなく、全教職員がその研修内容を共有できるような形にしてほしい。 ・県のSSWと市のSSWが役割を果たせることが重要であるため、その体制作りの強化をお願いしたい。 ・エビデンスに基づいた不登校支援計画が必要である。 ・相談できない子を見つけるには地域力の向上しかない。保護者だけにしないで、常に誰かと繋がっているような形の不登校の子たちのネットワークもできれば心強いと思う。 ⇒次回の総合教育会議では、スクールソーシャルワーカーの方に来ていただき、現場の声を直接伺う。 (4) その他 ・教育総務部長より、「中学校部活動の地域移行」及び「葛生義務教育学校における通学用バス(スクールバス)」の現状を報告した。
10 その他	なし